

令和3年度(2021年度)

管理事業名	公民館事業			総合計画の体系	大綱 4 政策 4 施策 2	子育て・学び 生涯にわたり学べるまちづくり 生涯学習環境の整備
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 3 公民館費
部局名	地域教育部	予算執行所属	まなびの支援課			
予算大事業名 公民館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)北千里小学校跡地複合施設建設費 公民館事業 (款)教育費(項)社会教育費(目)吹三地区公民館整備費 公民館事業					
事業の目的と概要 【目的】地域住民のために、各種生涯学習事業を行い、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図ります。 【概要】 ・地区公民館(29館及び1分館)を身近な生涯学習の場として安全・快適に利用してもらえるよう施設の維持管理を行います。 ・自主的な学習・文化活動の支援を行うとともに、高齢化問題や防災等の現代的課題講座や地域住民の学習ニーズに対応した主催講座を実施します。 ・地区公民館文化祭実行委員会が開催する地区公民館文化祭事業への補助を行います。 ・老朽化した公民館について、年次的に改修を実施し、安心・安全でバリアフリー対策を考慮したより良い施設づくりを推進します。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
施設利用者数 (主催講座除く)	人	314,213	104,931	144,297	地区公民館の貸出施設の利用者数
主催講座参加者数	人	42,499	6,068	14,456	地区公民館主催講座事業の参加者数
主催講座開催回数	回	1,666	433	1,045	地区公民館主催講座事業の開催回数
文化祭来館者数	人	40,047	0	0	地区公民館文化祭事業来館者数
成果の説明	施設の運営については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、定員の数を減らす等の対策を講じながら利用を再開し、高齢化問題や防災等の現代的課題講座に加え、専門的な知識を持った市職員を活用した講座の企画など、公民館における主催講座内容の充実にも努めました。地区公民館文化祭は2年連続開催を見送りましたが、令和2年度より講座の開催回数・参加者数、施設利用者数は増加しました。今後は、状況に応じた感染症対策と利用制限緩和のバランスを考慮しながら安心安全に館を運営していくことが課題となっています。 施設の整備については、北千里小学校跡地に北千里地区公民館を含む複合施設の整備を進めています(令和4年11月の開館予定)。狭隘対策が課題となっていた吹三地区公民館については高齢者いこいの間と複合化し現地建替による整備を進めています。他の公民館についても施設の状況に応じ、各種の修繕を行うことにより、安心安全で高齢者や障がい者にやさしい生涯学習施設の整備・充実に取り組みました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	55,000	-	△55,000
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,116	1,658	1,793	134
経常収入 小計(a)	2,116	56,658	1,793	△54,866
給与関係費	96,808	109,528	105,709	△3,819
物件費	176,434	197,410	174,907	△22,504
維持補修費	16,226	7,097	13,719	6,622
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	16,567	3,067	5,274	2,207
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	68,457	68,457	67,969	△488
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,007	5,160	4,042	△1,118
退職手当引当金繰入額	1,214	4,399	△1,130	△5,529
支払利息	6,713	6,117	5,520	△597
その他	-	0	-	△0
経常費用 小計(b)	387,426	401,235	376,010	△25,225
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△385,309	△344,576	△374,217	△29,641
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	107,712	107,712
特別収入 小計(d)	-	-	107,712	107,712
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	0	0
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	107,712	107,712
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△385,309	△344,576	△266,505	78,071
一般財源充当額	367,496	325,782	365,572	39,790
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△17,814	△18,794	99,067	117,861

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	委託料 103,573千円 需用費(修繕費を除く) 26,914千円 工事請負費(南吹田地区公民館解体撤去工事) 17,866千円
維持補修費	千里ニュータウンプラザ管理事業(公民館)施設管理委託料【修繕】4,333千円の増
特別収入 その他	北千里小学校跡地複合施設整備に係る都市構造再編集中支援事業補助金 107,712千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,116	56,658	1,793	△54,866
行政サービス活動支出	322,118	332,862	313,863	△18,999
行政サービス活動収支差額	△320,001	△276,203	△312,070	△35,867
投資活動収入	-	-	107,712	107,712
投資活動支出	-	-	152,892	152,892
投資活動収支差額	-	-	△45,180	△45,180
財務活動収入	-	-	41,400	41,400
財務活動支出	47,494	49,579	49,722	143
財務活動収支差額	△47,494	△49,579	△8,322	41,257
収支差額 合計	△367,496	△325,782	△365,572	△39,790
一般財源充当額	367,496	325,782	365,572	39,790
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	投資活動支出:北千里小学校跡地複合施設整備費用
----------	-------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者一人当たりのコスト	令和元年度	396,759 人	976 円	地区公民館利用者1人あたり2,369円のコストがかかっています。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じて利用を再開したことで、利用者が増加したことにより、前年に比べて1,245円減少しました。
	令和2年度	110,999 人	3,614 円	
	令和3年度	158,753 人	2,369 円	
の	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	54,882	53,908	△974
未収金	-	-	-	地方債	28,816	28,960	144
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	5,160	4,042	△1,118
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	3,478,875	3,565,268	86,394	その他流動負債	20,906	20,906	-
土地	2,079,663	2,080,612	949	固定負債	432,704	419,534	△13,170
建物・工作物	1,399,212	1,331,765	△67,447	地方債	176,554	188,995	12,440
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	152,892	152,892	退職手当引当金	47,089	42,384	△4,704
無形固定資産	3,846	3,655	△191	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	209,061	188,155	△20,906
土地	-	-	-	負債の部合計	487,586	473,442	△14,144
建物・工作物	-	-	-	純資産	2,999,304	3,099,319	100,016
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	4,169	3,838	△331	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	3,486,889	3,572,761	85,872
資産の部合計	3,486,889	3,572,761	85,872	負債及び純資産の部合計	3,486,889	3,572,761	85,872

Ⅲ 財務構造分析

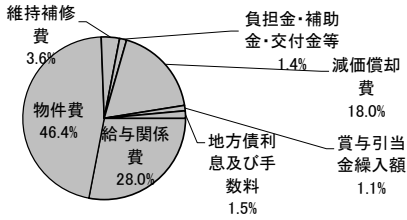
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事日数	年間従事日数	
7.31人	6,458日	5,198日		108,620
給与関係費等	57,118千円	33,168千円	18,334千円	
内、時間外勤務手当	2,031千円			

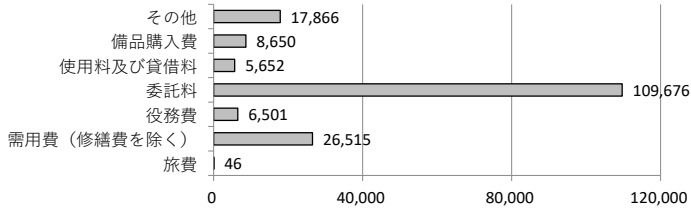
貸借対照表の主な増減理由(特微的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却費67,447千円の減
建設仮勘定	北千里小学校跡地複合施設の建設費152,892千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹一地区公民館ほか29館
取得年月日	昭和36年12月13日(吹一地区公民館ほか)
建物・工作物の取得価額	2,695,253 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,363,488 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率	0.6	0.3	0.5	0.2
施設老朽化比率	46.1	48.4	50.6	2.2
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.4	85.2	70.8	△ 14.4
経常費用対公共資産比率	14.2	14.8	14.0	△ 0.8

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主な内訳は、物件費174,907千円(46.4%)、給与関係費105,709千円(28.0%)、減価償却費67,969千円(18.0%)です。そのうち物件費の主な内訳は、委託料が109,676千円(62.7%)、光熱水費等の需用費が26,515千円(15.2%)です。令和3年度地区公民館全体の老朽化比率は、令和2年度に比べ2.2ポイント増えました。個々の公民館の老朽化比率の平均は65.0%(平成20年度以降に建替えを行った6地区公民館を除いた個別の老朽化比率の平均は76.9%)となり、建替や改修工事を数館実施しているものの、市保有施設全体の老朽化比率57.6%と比較して老朽化が進んでいる施設が多数を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

事業コストの46.4%を委託料や光熱水費等で構成される物件費が占めています。地区公民館の窓口受付業務、清掃業務や各種保守点検業務等、地区公民館を安全・良好な状態で維持し市民へ提供するためには、必要な経費であると考えています。新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、定員数を減らす等の感染拡大防止対策を講じながらではありますが、事業を実施することができたので臨時休館による事業中止期間があった令和2年度より負担金・補助金・交付金の支出が一時的に増加しました。社会教育施設としての公民館の役割を果たすため、多様化する現代的な課題や社会的課題をテーマにした講座、ICTの活用に取り組むと共に、講座を企画する企画運営委員への研修や情報提供を充実させ、市民にとってより魅力的な講座が提供できるようサポートしていくために必須の費用であり、今後は状況に応じて増加する見込みです。各公民館につきまして、老朽化に対応した移転建替や維持補修工事の実施を進め、施設の長寿命化に努めているところですが、建替や改修工事を行っていない公民館については、依然老朽化が進行しており、経年劣化が原因による修繕維持補修等に関するコストが今後も増加することが予測されますので、維持補修等にかかる経費をできるだけ標準化するために維持補修計画を立て、計画的に予算確保を行い、適切な時期に維持補修等を実施していくことが必要と考えています。